

管理施設の利用状況(平成25年4月～平成26年3月)

※資料1

●利用状況表

	管理施設										相談対応	その他の利用者	総数
	ミーティングスペース		交流スペース		ワークスペース		情報スペース	小計(件数)	小計(人数)				
4月	51件	373人	32件	123人	68件	214人	61人	212件	771人	25件	641人	1437人	
5月	32件	249人	15件	63人	67件	75人	57人	171件	444人	24件	646人	1114人	
6月	43件	294人	16件	99人	54件	144人	36人	149件	573人	22件	631人	1226人	
7月	46件	346人	19件	98人	53件	138人	48人	166件	630人	26件	718人	1374人	
8月	39件	265人	29件	165人	49件	161人	37人	154件	628人	11件	530人	1169人	
9月	39件	248人	24件	99人	55件	149人	43人	161件	539人	13件	492人	1044人	
10月	31件	209人	19件	85人	63件	143人	40人	153件	477人	17件	464人	958人	
11月	34件	270人	20件	90人	57件	122人	43人	154件	525人	12件	459人	996人	
12月	24件	224人	23件	109人	36件	94人	33人	116件	460人	14件	482人	956人	
1月	28件	217人	31件	153人	51件	70人	36人	146件	476人	14件	220人	710人	
2月	32件	242人	16件	91人	35件	72人	18人	101件	423人	8件	260人	691人	
3月	43件	314人	24件	131人	71件	124人	24人	162件	593人	8件	268人	869人	
計	442件	3251人	268件	1306人	659件	1506人	476人	1845件	6539人	194件	5811人	12544人	

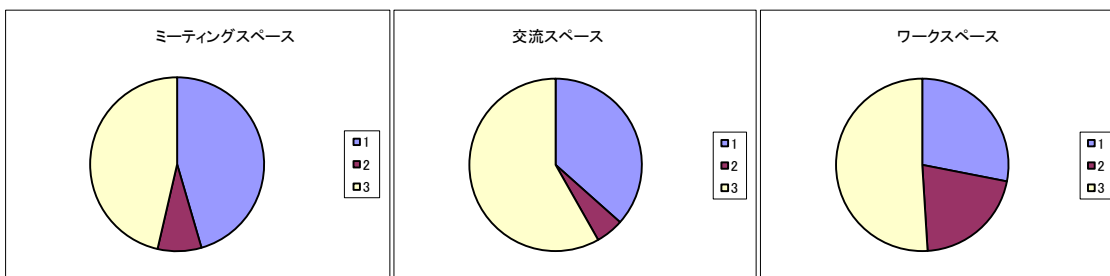
(注) *管理施設の小計＝交流スペース＋ミーティングスペース＋ワークスペース＋情報スペースの利用者数
 *総数＝管理施設の利用者数＋相談対応件数＋その他の利用者(施設見学・案内など)

<参考>

平成23年度	265件	1178人	368件	2938人	545件	1439人	233人	1411件	5788人	325件	7601人	13714人
平成24年度	306件	1406人	451件	3220人	537件	1796人	329人	1623件	6751人	355件	6795人	13901人

●施設利用団体の内訳

	ミーティングスペース	交流スペース	ワークスペース
使用回数(全体)	442件	268件	659件
掲載団体	201件 (46%)	98件 (37%)	185件 (28%)
地域型	36件 (8%)	14件 (5%)	138件 (21%)
その他(未記入)	205件 (46%)	156件 (58%)	336件 (51%)



市民公益活動支援センターの利用について 利用者アンケート結果

※資料2

回収枚数 83 枚

基本属性

性別	1.男性	46
	2.女性	36
	3.未記入	1

年齢

1.10歳未満	0
2.10-20代	1
3.30-40代	9
4.50代	19
5.60代以上	54
6.未記入	0

職業

1.会社員	5
2.パート等	4
3.公務員	1
4.自営業	6
5.学生	0
6.無職	65
7.未記入	2

住所

1.市内	78
2.市外	4
3.未記入	1

用件

(複数可)

1.会議	47
2.相談等	1
3.印刷等	28
4.情報収集	1
5.その他	4
6.未記入	1

管理・運営について

開館日時	1.良い	64
	2.普通	18
	3.要改善	1
	4.未記入	0

内容	1.良い	62
	2.普通	21
	3.要改善	0
	4.未記入	0

清潔さ	1.良い	66
	2.普通	16
	3.要改善	0
	4.未記入	1

スタッフ	1.良い	73
	2.普通	9
	3.要改善	0
	4.未記入	1

利用スペースについて

ミーティング	1.良い	53
	2.普通	19
	3.要改善	0
	4.未記入	11

交流	1.良い	43
	2.普通	25
	3.要改善	1
	4.未記入	14

ワーク	1.良い	40
	2.普通	27
	3.要改善	0
	4.未記入	16

情報	1.良い	35
	2.普通	29
	3.要改善	1
	4.未記入	18

その他	1.良い	16
	2.普通	10
	3.要改善	1
	4.未記入	

自由意見

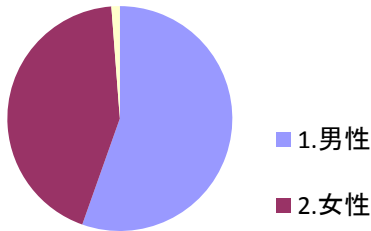
- ・いつも良く対応して頂き感謝しています。
- ・いつも親切にいただきありがとうございます。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。
- ・安くて早く印刷させていただきました。親切におしえて下さって感謝しています。
- ・月1回心良く利用させて頂いています。
- ・大変便利に利用させて頂いています。
- ・毎月1度会議で利用させて頂いています。夜遅くまで対応ありがとうございます。
- ・3ヶ月1回の広報プリント400枚大変助かっております。
- ・明るくて、仕事しやすかったです。
- ・使い勝手が良くありがたいです。
- ・朝少しはやかたですが、心よりの対応で良かったです。
- ・印刷した資料をソートできる設備が欲しい。頁数の多い書類等に。
- ・2階のインターネット環境設備があればと思います。
- ・ワークスペースが狭い。
- ・ワークスペースの机の配置は良い。交流スペースの3つの机バラバラはやめてほしい。
- ・ワークスペースが広くて助かります。
- ・ミーティングスペースの通路が不便で、部屋が使いにくい。
- ・ちょっと駐車スペースが狭い。
- ・情報コーナーのスペースが確認しにくい。

利用者アンケート2013年度 集計

回収枚数 83 枚

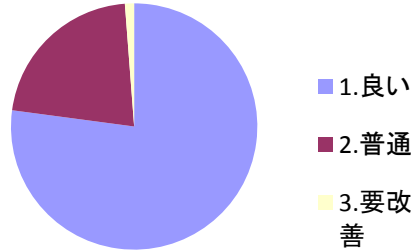
基本属性

性別



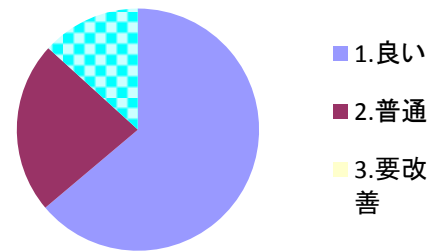
管理・運営について

開館日時

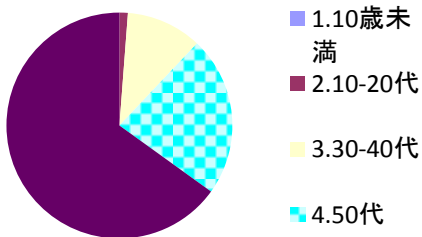


利用スペースについて

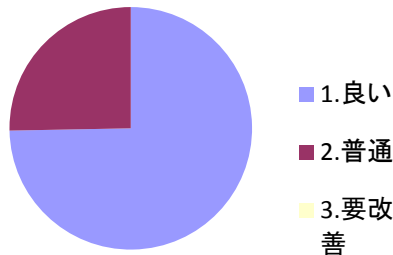
ミーティング



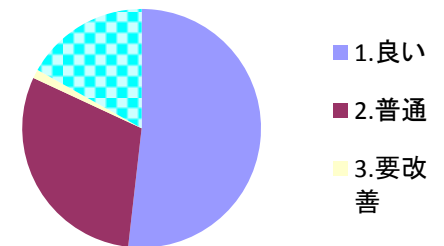
年齢



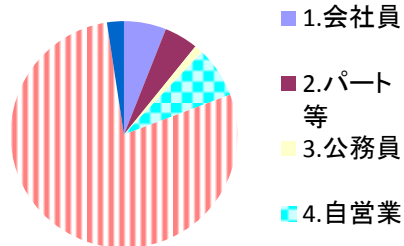
内容



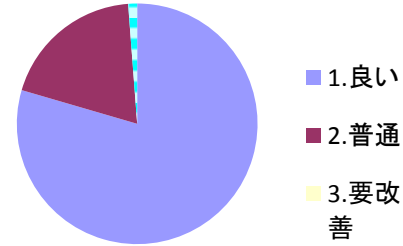
交流



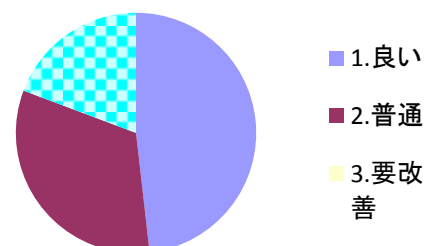
職業



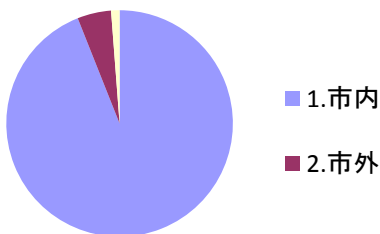
清潔さ



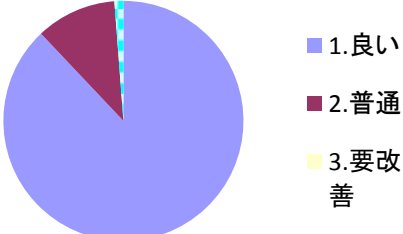
ワーク



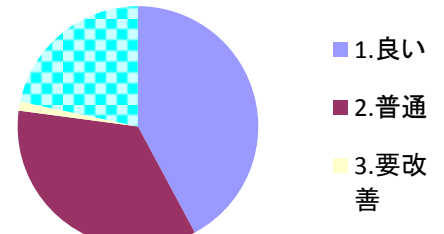
住所



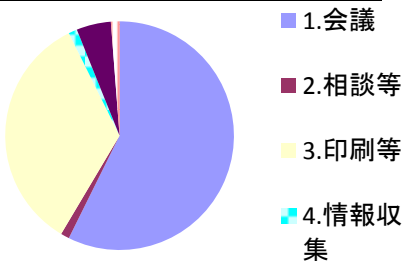
スタッフ



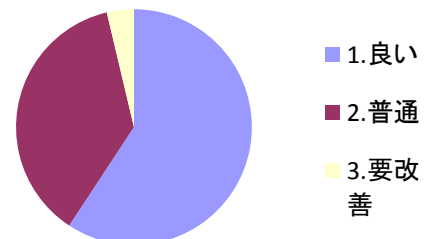
情報



用件(複数可)



その他



事業名称	概要				
	日程	会場	延人数	内容、テーマ、講師等	
1. 情報の収集・提供に関する事業					
ボランティア・市民活動紹介冊子「ガイドブック」の作成	7月	市内のボランティアまたは市民活動をしている団体・グループの情報（平成25年7月現在）をまとめた冊子(350部)及び一覧表A4版・A5版(計2300部)を発行し、掲載団体等に配布及びる一ぶらざ・キックス等で閲覧し活用した。掲載122団体		ボランティア・市民活動情報を、多くの市民の方・団体に提供できた。名称を「はじめてみませんか？」を時代に合った「ガイドブック」に改名した。	
生涯学習情報誌への記事掲載	年4回	市広報合冊の「かわちながの生涯学習情報誌」の平成26年1月号に「ボランティア・市民活動フェスティバル」の特集記事を、8・11・1・3月号に支援センターの活動関連をアラカルト欄に掲載した。		市広報に合冊し掲載、ボラフェス案内や参加団体の活動内容を紹介することで、ボランティア・市民活動情報を広く市民に提供できた。	
支援センター情報紙「る一ぶらざだより」の発行	年4回	支援センター情報紙、春号(21号)夏号(22号)秋号(23号)冬号(24号)の4回発行、(各号カラー版40部、白黒版1,000部)「ガイドブック」掲載団体・推進委員などに配布、各公共施設等に配架、来場者に配布した。		支援センターの行事・施設活用紹介・団体活動記事などを重点に掲載、また、毎月変化に富んだ情報・記事が掲載できた。	
他市他施設の調査・研究	11月26日	みのお市民活動センター	14	みのお市民活動センターを見学し、施設及び事業内容の説明を受けた。	市民活動センターの先駆的な施設を訪問、様々な事業・行事等の活動を学び、非常に勉強になった。
ホームページの管理運営	通年			支援センターの管理運営状況の更新、支援センター行事のお知らせ、団体年間行事のお知らせ、まちづくり交流会の案内等を掲載した。	定期的に更新ができた。事務局に集まる情報を迅速に掲載できるよう、また、有効活用を検討する。
その他	通年			キックス1階情報コーナーに設置の団体活動をPRする「お知らせポケット」等でチラシ等配架、また、団体活動を市民に紹介するための情報を提供した。	「お知らせポケット」の周知・拡充。団体活動の情報収集ができた。
2. 学習機会の提供に関する事業					
ボランティア活動入門講座	8月4日	キックス	61	講演テーマ：ボランティア・市民が災害時にできること 講師：神戸大学特命准教授 紅谷昇平氏	阪神淡路大震災・東日本大震災を教訓に、災害時におけるボランティア・市民の役割や関わり方などについて考えるきっかけになった。
ボランティア活動体験・見学プログラム	夏：7月23日～8月31日	キックス・ボランティアセンター・その他活動場所	夏：554 通年：272	対象：市民（幼児・小学生以上の市内在住・在勤・在学者） 目的：各ボランティア団体の活動状況を見学し、実際に体験し、ボランティア活動を理解してもらい参加の機会をつくる。実施プログラム数：夏39、通年12プログラム 参加団体数：夏23通年5団体	一般参加者が前年度より減少した。理由はプログラムのマンネリ化・他団体の公民館での実施などである。次年度は、PRの仕方・ユニークなプログラムの検討が必要。春秋のプログラムも減少した。更なる事業の充実を図る。
グループ運営講座	1月30日	る一ぶらざ	41	内容：災害時にボランティアが出来ること 講師：神戸大学特命准教授 紅谷昇平氏	災害時にボランティア団体ができることを、実例などを基に知ることができた。また、当センターでの団体のアンケート結果も報告でき、今後の防災・災害時における取組の参考になった。
	4月1日～2月10日	る一ぶらざ	延べ96	パソコン講座：パソコンがあなたの団体の活動を助けます！ 7回×2日＝14日実施	パソコン講座は団体のニーズが高く、パソコンが団体の活動に役立てて頂くことができると思う。
3. 交流促進に関する事業					
市民まつりへの参加	5月12日	寺ヶ池公園 小山田小学校	—	「河内長野のここが好き」野菜カード、飴入りかぶとの折り紙、掲載団体一覧表、団体行事予定、「る一ぶらざ」の紹介	各団体の活動状況や「る一ぶらざ」のPRができた。また、ボランティア・市民活動に興味を持っていただいた。「河内長野のここが好き」野菜カードには関心があった。
市内団体交流会	11月1日	る一ぶらざ	24	対象者：市民公益活動団体など。内容：団体活動報告と情報交換・折り紙手作り・ポスター等の展示・名刺交換、団体とのチーム交流 参加団体数：18	新しく参加した団体もあり、折り紙作り、「ワーキングカフェ」形式で実施し、ざっくばらんな雰囲気良かった、また、情報交換ができた。
ボランティア・市民活動フェスティバル	2月23日	キックス	4,600、 参加団体58	目的：参加団体の活動を紹介し、ボランティア・市民活動の啓発及び促進を図る。テーマ：よりよい明日へ、そだてよう市民の輪 内容：市民参加型ゾーンでは防災や災害への取り組みを市民目線で書いてもらいボードに貼ってもらった。展示、実演、フリーマーケット、ステージ、絵画コンクール展など。	前年度より参加団体・来場者が増え、また、新しい出会いができたと思う。絵画コンクール（102作品）などは市民の関心が高かった。来場者の評判も良かった。市民にボランティアに関して関心を持ってもらい、また、参加団体間の交流もできた。
4. 相談・コーディネートに関する事業					
ボランティア・市民活動情報提供コーナー	毎週木曜 通年	キックス る一ぶらざ	件数：32 件数：194	情報コーナーで、ボランティア・市民活動をしようとする来場者に、相談及び団体や自治体活動情報を提供できた。	種々の情報も得られ提供できたこと。相談内容の分析もし、今後の参考にする。しかし、まだまだ相談員の質の向上が必要である。
ボランティアアドバイザー養成講座	12月4日 12月18日	る一ぶらざ る一ぶらざ	18 18	テーマ：ボランティアアドバイザーを目指す人に、ボランティア活動を始めようとする人への情報提供や相談に応じるためのノウハウを学ぶ 講師：大阪ボランティア協会 梅田 純平氏	相談者の思いを丁寧に受け止め、気持ちの寄り添えるアドバイザーになることを学んだ。また、相談対応をアップさせるために、情報収集、専門知識の向上、ネットワークづくり、及び、相談ケースを共有化する。
相談・コーディネート機能	11月8日	る一ぶらざ	受講者 9名	障害者差別解消法（障害者差別禁止法）制定に際して 講師：（特活）かわちながの市民公益活動推進委員会 理事長：西村道夫	世界人権条約をはじめとする国連権利条約の1つ「障害者権利条約」推進に向けた一歩、差別禁止を文明化した初めての法律について学ぶことができた。
ステップアップ講座	3月19日	る一ぶらざ	14名	テーマ：相談対応について 講師：大阪ボランティア協会 梅田 純平氏	相談者に対する接し方、あり方、また、コーディネートの仕方などを学んだ。今後に生かしていきたい。
5. 支援センター管理運営及び事務局の事業					
支援センター管理運営	通年			支援センターの管理運営（各事業・行事）、る一ぶらざ設備の提供など	推進委員の日常の努力、団体の協力により、問題なく遂行できた。また、内容も向上した。
地域型組織活性化（まちづくり交流会、自治会意見交換交流会等）				市民協働室主催のまちづくり交流会においては取り組み支援、る一ぶらざで各校区のチラシの展示、日程の把握など。自治振興課主催の自治会意見交換交流会（35名参加）ではる一ぶらざで開催協力、自治会関連の相談対応など	まちづくり交流会はチラシの展示、市民の方からの交流会の内容や日程連絡などができた。
市民公益活動支援補助金	2月14日 3月12日	る一ぶらざ る一ぶらざ	11 6	市民公益活動支援補助金制度説明会及び活用講座 講師：（特活）市民活動フォーラムみのお理事長須貝 昭子 補助金制度とその申請にあたって プレゼンテーション講座 講師：認定特定非営利法人大阪NPO法人事務局次長堀野 亘 求 プレゼンテーション必要な観察力	制度や活用方法がわかり、役立つ内容のものであった。また、プレゼンテーション講座では、プレゼンテーションのポイントが学べ、プレゼンテーションを実際に行い審査し合うことで有意義な講座となった。
センターラウンドテーブル る一ぶらの集い	毎月第2土曜	る一ぶらざ	60	「住み良いまち、安心できるまち、自然を満喫できるまちを私たちの手で」 様々な分野で活躍する人が対等な立場で課題を共有し情報交換する場、ここからネットワークが広がり地域づくりにつなげる。	お互いの親睦が図られ、今後のボランティア活動にプラスになり、更に、お互いの情報交換・交流の場になった。反面、参加者が固定化及び減少傾向にあり、幅広く市民に呼びかける必要がある。
イベント情報の発行	年12回			毎月初めに発行、「る一ぶらざ」及び団体の行事を掲載	毎月初めに定期的に発行できた。
団体行事予定表の発行	年12回			年4回団体から団体の行事予定の提供、年4回月別行事予定表の発行・展示	定期的に発行・展示できた。
消防訓練	9月13日 3月14日	る一ぶらざ る一ぶらざ	13 12	消火器・自火報の操作訓練・避難訓練 消火器・自火報の操作訓練・避難訓練	緊急時を想定した訓練が出来た。
活動報告書の作成	通年			年間の活動を活動報告書にまとめる。	単なる報告にとどまらず、今後の活動につなげる。
その他	その都度	キックス他	—	支援センターの管理運営や行事内容の紹介・展示・他自治体等の視察・研修受け入れ、大槌町復興応援プロジェクト参加、市内情報誌等への情報提供（シリーズ掲載）など	

平成25年度相談対応の主な内容と件数(平成25年4月～26年3月)

※資料4

No	分類	相談等の内容	課題・対策	件数
1	団体運営・行事企画、団体立ち上げなど	団体の方向性・悩みごと、情報提供、支援協力要請(行事・講座、チラシ作成)、会員募集依頼、ボランティア要請など	団体の活動内容・特徴などを把握	65
2	当センター主催事業に関する事	ボラフェスの企画内容・準備、ボラフェス初参加、体プロの企画内容、体プロ初参加、講座、市の企画・事業仕分け、他市の事業について		25
3	支援補助金、協働事業に関する事	制度の内容、申請方法、制度の運営・活動について	制度の理解、団体の動向把握	22
4	ボランティア活動活動をした	退職者・学生Vo、なんとなくVo、手話・舞踊・福祉施設でVo、有償Vo希望	スタッフの情報の共有化、マニュアル化、また、フォローアップ	21
5	11.「ガイドブック」掲載に関する事	「ガイドブック」の掲載方法、内容、書き方、手続きなど		14
6	当センターの使用・利用に関する事	センターは何をるところ、るーぷの集い参加、自治会のセンター利用、ラミネート利用など	支援センターのPR	9
7	他市より当センターの運営・事業など	当センターの設立・管理運営について、他市からの訪問、他市との意見交換、他市の活動を知りたい	当センターの管理運営の把握、他市の活動に注視	9
8	広報、掲示、情報提供など			6
9	まちづくり交流会・協議会、まちづくり関係	まちづくり交流会・協議会の情報提供、まちづくり(おまつり・駅前活性化など)、まちづくり講演会・地域デビュー講座についてなど	交流会・協議会の動向把握、地域の活動状況把握	3
10	NPO活動、NPO立ち上げに関する事	NPO準備・立上たい、申請方法、会計処理、NPO情報・取り組み方・支援(融資)	NPOの一般的知識の習得、市とセンターの業務区分	2
11	自治会・老人会・子供会活動に関する事	子ども会の企画・行事支援、自治会活動・運営・役員について、自治会の問題点、ひきこもり、介護施設・デイサービスなど	自治会・老人会・子ども会の普遍性や特性を把握	1
12	大学連携、学生支援関係に関する事	問合せ(河内長野の取組み、ボランティア、ボラフェスなど)、先生と協議、大学卒論に協力など	地域の学校と連携	1
13	ボランティア保険に関する事	市の市民公益活動補償制度などについての相談など	新加入団体に注視、行政の施策の把握	1
14	他市・府関連に関する事		他市・府の情報収集	2
15	その他		被災地の動向に注視	13
計				194

2. 所見

相談件数は昨年度より大幅に減少した。その原因は、単純相談(問い合わせなど)削除した。

[昨年度 355件]

相談対応者に偏りがある。また、スタッフのレベルアップが要求される。

相談内容は、データベース化(対応内容・結果など)するなどによりスタッフの情報の共有化を図

視察・研修受入れ

当支援センターに自治体から視察・見学等があり、当センターの設立経緯、当センターの事業・行事、施設の利用状況、施設の管理運営等について説明等を行った。

1) 岸和田市視察受入れ

視察日：平成25年6月7日

訪問者数：岸和田市自治振興課・企画調整部（5名）

対応者：市民協働室（1名）・当支援センター長
他（4名）、

内容：市民公益活動について



2) 泉大津市視察受入れ

視察日：平成25年12月9日

訪問者数：泉大津市人権市民協働室（2名）、社協事務局（1名）、
ボランティア連絡会（1名）、市民公募他（3名） 計7名

対応者：当支援センター長、河内長野市民協働室（2名）

